

パソコンいわくら教室

あけましておめでとつございます。今年も教室新聞をよろしくお願いいたします。
令和3年1回目は「フォント」についてです。フォントって？

フォントとは文字そのもののことです。パソコンなどで文字入力して表示される文字は1種類だけではなく、様々なデザインのものから選べます。この新聞の本文で使っているフォントは「ヒラギノ丸ゴシック」というデザインのもです。

よく使われるフォントは、「明朝体」「ゴシック体」「ポップ体」「書体」です。

明朝体は文字の太さが違い、ハネやハライがあります。ゴシック体は文字の太さが同じで線の強



弱はありません。ポップ体はチラシによく使われる文字で、丸みがあり太めのマーカーで書いたような文字です。…書体は楷書体、行書体などの筆文字です。その他にも様々なデザイン名がついたフォントが存在します。

また、文字の横幅が同じな「等倍フォント」、文字によって横幅が異なる「プロポーショナルフォント」があります。

(MS明朝とMSゴシックでは、どちらも同じデザインの文字ですがPがついている方は横幅の異なるプロポーショナルフォントです・上が等倍)

フォントなどでフォントのメニュー一覧を確認すると、組み込まれているフォントが確認できます。

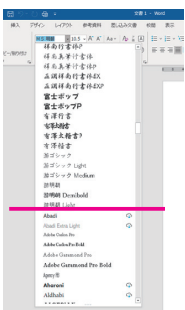
フォントはどのパソコンでも同じものがセットされているわけではなく、機種やメーカーによって異なります。

(基本で使われるフォントは共通しています)

フォントを使い分けることによって、文書やチラシ、年賀状など表現も変わってきます。

また、フォントには、日本語に使えるものと、半角で入力したアルファベットや数字に使えるものがあります。ワードなどでフォント一覧を見るとアルファベット順に並んでおり、図のように分

かれています。半角入力されている文字には、それ以外用のものでなく、すべてのフォントが使えます。



ラインより上が日本語用、下のアルファベット順に並んでいるものがそれ以外用

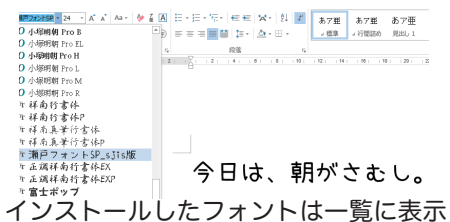
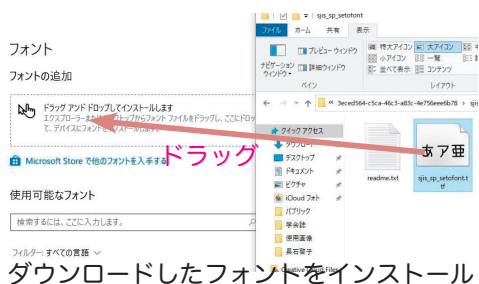
フォントを新しく加えるには

新しいフォントを加えるには、新しくフォントをインストールする必要があります。

通常、フォントは購入する必要がありますが、ネット上で無料で提供されているフォントがありますので、それも利用できます。「フリーフォント」というキーワードで検索すると、様々なサイトが検索できます。そこから好みのフォントを見つけてダウンロードします。

ダウンロードしたフォントは、フォントの設定画面を開いて、インストールします。

不要になったフォントも設定画面から削除できます。



フォントを使い分けて表現豊かな文書、資料などを作りましょう。

教室のWebページは左記アドレスから、スマホ・携帯からは、QRコードからどうぞ。
新聞バックナンバーもご覧いただけます。

<https://pc-iwakura.com/>



See you next month